

学校教育目標	「笑顔いっぱい(E)すこやかいっぱい(S)大好きはざわの人とまち(D)」 ○自分らしさを発揮し、進んで行動する子どもを育てます。【知】 ○心と身体を健やかに育み、生命を大切にすることを育てます。【徳】【体】 ○共に学び合い、地域社会と豊かにかかわる子どもを育てます【公】 ○多様性を尊重し、持続可能な社会の実現に向けて行動する子どもを育てます。【開】				
	創立 52 周年	学校長 川村 智子	副校長 永野理英子	2 学期制	一般学級: 15 個別支援学級: 5
学校概要	児童生徒数: 456 人 主な関係校: 菅田中学校・菅田の丘小学校と併設型小中一貫校に平成29年指定を受ける				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	菅田中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
自分で考え、判断し、行動する力	菅田中ブロック (小中併設校)	①習得した知識を活用して問題解決できる子 ②互いに表現し合い自分の考えを深める子 ③自ら行動し粘り強く取り組む子  ○小中が職員が一同に会する研修会等を実施し、小中の理解を深める。 ○「9年間で育てる子ども像」を見据えた授業研究会を実施し、小中の連携を深める。 ○菅田中ブロックの特色を生かした「独自教科」の創設に向けて研究を推進する。

中期取組目標	○学校教育目標の実現を目指して、子どもたち一人ひとりを大切に、活力と魅力ににあふれた学校づくりに取り組みます。 ・一人ひとりの「わかる喜び」「できる喜び」を実感できる授業づくりに取り組みます。 ・保護者・地域の方々との連携や協働の中で子どもたちの豊かな心やまちを愛する心を育てます。 ・健康教育の充実を図り、健康でたくましい体を育てます。 ・地域やまちに親しみを感じ、まちの一員としてよりよい社会をつくろうと行動する子を育てます。
--------	---

重点取組分野		具体的取組
知	生きてはたらく知	①授業研究会を通して育成をめざす資質能力を明かにして教科との関連を見通しながら授業づくりに取り組む。この際ESDの資質能力とも関連を考え、授業実践に取り組んでいく。 ②児童が感動する体験をベースに表現力、コミュニケーション能力を高める。 ③チームマネジャー低中高動入により専門性の高い授業を実施していく。
徳	豊かな心	①5月と12月に人権について考える機会を設定し、年間を通じて人権意識の醸成を図っていく。 ②ペア学年の活動を充実させて自尊感情の育成と他者理解の気持ちを育成する。
体	健やかな体	①日常に長縄集会等の運動習慣につがる運動の時間を取り入れていく。 ②体力テストの結果を生かした日常の取り組みを行っていく。
公開	地域・社会連携	①キャベツ栽培など地域の方と触れ合い、地域の方に学びながら学習の充実を図る。 ②社会に開かれた教育課程をめざして生活科や総合の時間でも地域の方の意見を取り入れながら進めていく。 ③SDGsの視点と関連させ、さらに社会とのつながりを意識し様々な活動に取り組んでいく。
	いじめへの対応	①いじめアンケートや年間2回のYPの実施と分析から早期のいじめ発見に努めていく。 ②SCやSSWと連携したり、定期的に「いじめ防止対策委員会」を開き職員の情報共有を行い、組織的対応が迅速にできるようにする。 ③専任に加えて副専任を設定し、またチームマネジャーとも連携をとりながら児童のみならず保護者への迅速な対応を行う。
	人材育成・組織運営(動き方)	①人材育成を意図的計画的に進めていく。学校づくりワーキングやミドル研修を必要に応じて実施し、人材育成にあたる。 ②持続可能な学校づくりのあり方をさぐる公募型モデル校として本年度は4月の時間外勤務の減少のための試みを行う。 ③他機関の活用ということで、福祉作業所に清掃などで力を借りていく。
	児童指導	①YPアセスメントの活用から「横浜プログラム」を授業で効果的な活用を推進する。 ②学年に応じた情報モラル教育を計画的におこなっていく。
	特別支援教育	①支援の必要のある子に対して特別支援コーディネーターを中心にパワーアップ学習を行っていく。 ②登校しぶりや不登校傾向を示す子に対しては入り込みや取り出しで個にあった指導を展開する。 ③校内組織で検討し、「羽沢こスタ」を実施する。
	GIGA	①各担任が工夫し、それを共有しながら発達段階にあった指導を展開する。 ②本年度は計画的にICT支援委員を活用しながら研修を行う。
	小中併設新教科創設	①新教科「自分づくり科」も名称が決まり、ブロック校で進める段取りも明確になった。今後は育成を目指す資質能力を明らかにしながら、重点研究とも関連させながら進めていく。